

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【公表番号】特表2012-501410(P2012-501410A)
 【公表日】平成24年1月19日(2012.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報2012-003
 【出願番号】特願2011-524130(P2011-524130)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 9/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 9/02

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月17日(2012.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軸受カバー（3）に加えて軸受ブロック（2）を備える分割軸受装置用の軸受カバーであって、

軸受装置（1）が組み立てられた状態にあるときに軸受ブロック（2）の協働取付面に対向する取付面（5）を有し、少なくとも一つの突起（7）が、取付面（5）に備わると共に、軸受ブロック（2）の協働取付面（6）に押される取付面（5）から突出する軸受カバー（3）において、

少なくとも一つの突起（7）は、取付面上で突起（7）の長さ全域に渡って変化する断面（9）を有し、突起（7）は取付面（5）の幅（10）の方向において見たときにテーパ形状断面（9）を有する、ことを特徴とする軸受カバー（3）。

【請求項 2】

突起（7）の幅（24）及び／又は高さ（11）は突起（7）の長さ全域に渡って変化する、ことを特徴とする請求項 1 に記載の軸受カバー（3）。

【請求項 3】

少なくとも二つの突起（7）が個々の取付面（5）に備わり、断面が対向方向に傾斜して延びると共に相補的である、ことを特徴とする請求項 1 に記載の軸受カバー（3）。

【請求項 4】

突起（7）が三角形断面（9）を有する、ことを特徴とする請求項 1～3 の何れか 1 項に記載の軸受カバー（3）。

【請求項 5】

突起（7）は少なくとも部分的に丸みを有する、ことを特徴とする請求項 1～4 の何れか 1 項に記載の軸受カバー（3）。

【請求項 6】

丸みを有する領域は、0.01mm の下限と 4mm の上限の範囲から選択された半径を有する、ことを特徴とする請求項 5 に記載の軸受カバー（3）。

【請求項 7】

一つ又は複数の突起（7）の少なくとも一つの側面（15）であって、取付面（5）の幅方向に延びる側面（15）は、取付面（5）の方に向かって傾斜し、90° の下限と 160° の上限の範囲から選択される傾き角（14）を有する、ことを特徴とする請求項 1

～ 6 の何れか 1 項に記載の軸受カバー（ 3 ）。

【請求項 8】

一つ又は複数の突起（ 7 ）は、二つの側面（ 1 8 ）の少なくとも一つの領域に補正部分（ 1 9 ）を備える、ことを特徴とする請求項 1 ～ 7 の何れか 1 項に記載の軸受カバー（ 3 ）。

【請求項 9】

補正部分（ 1 9 ）が側面（ 1 8 ）に切欠き（ 2 1 ）又は凹みを備える、ことを特徴とする請求項 8 に記載の軸受カバー（ 3 ）。

【請求項 1 0】

軸受カバー（ 3 ）と、軸受カバー（ 3 ）に対向する軸受ブロック（ 2 ）とを備えた軸受装置（ 1 ）において、

軸受カバー（ 3 ）が請求項 1 ～ 9 の何れか 1 項に記載の軸受カバー（ 3 ）である、ことを特徴とする軸受装置（ 1 ）。